



×



ガクシ-

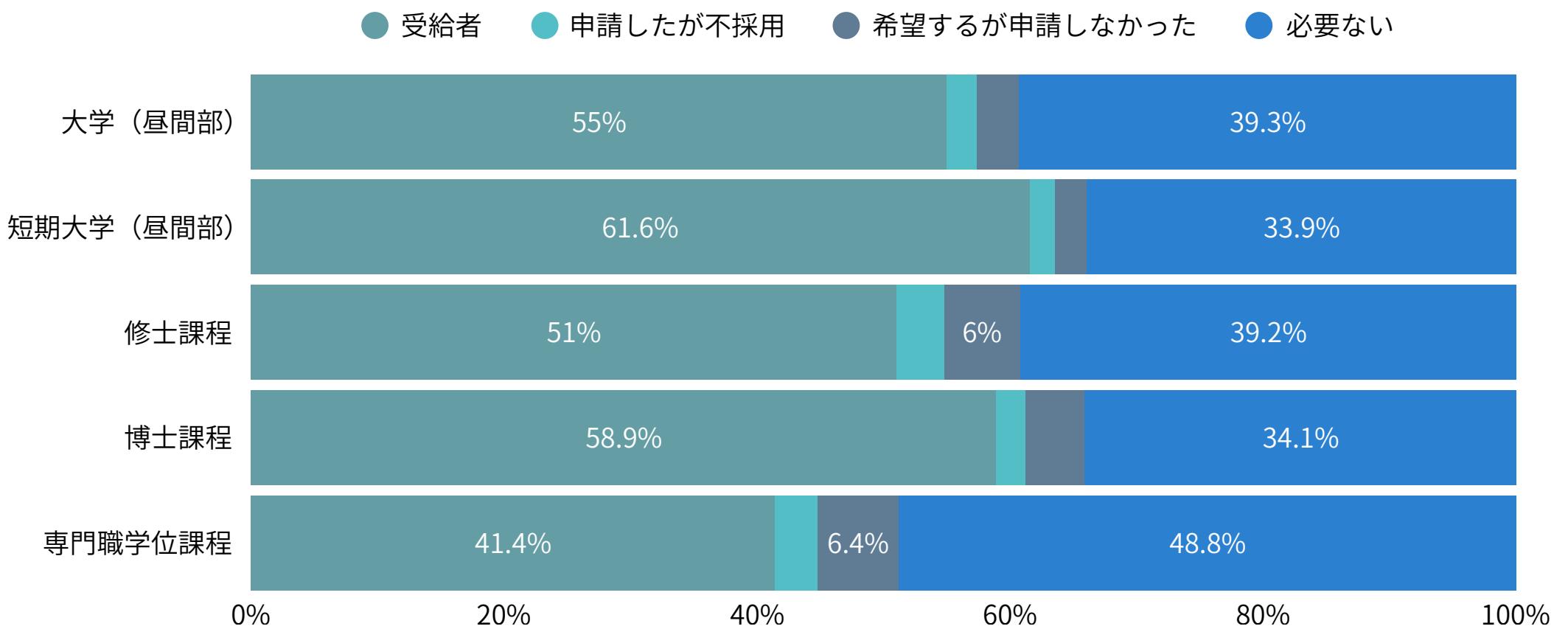
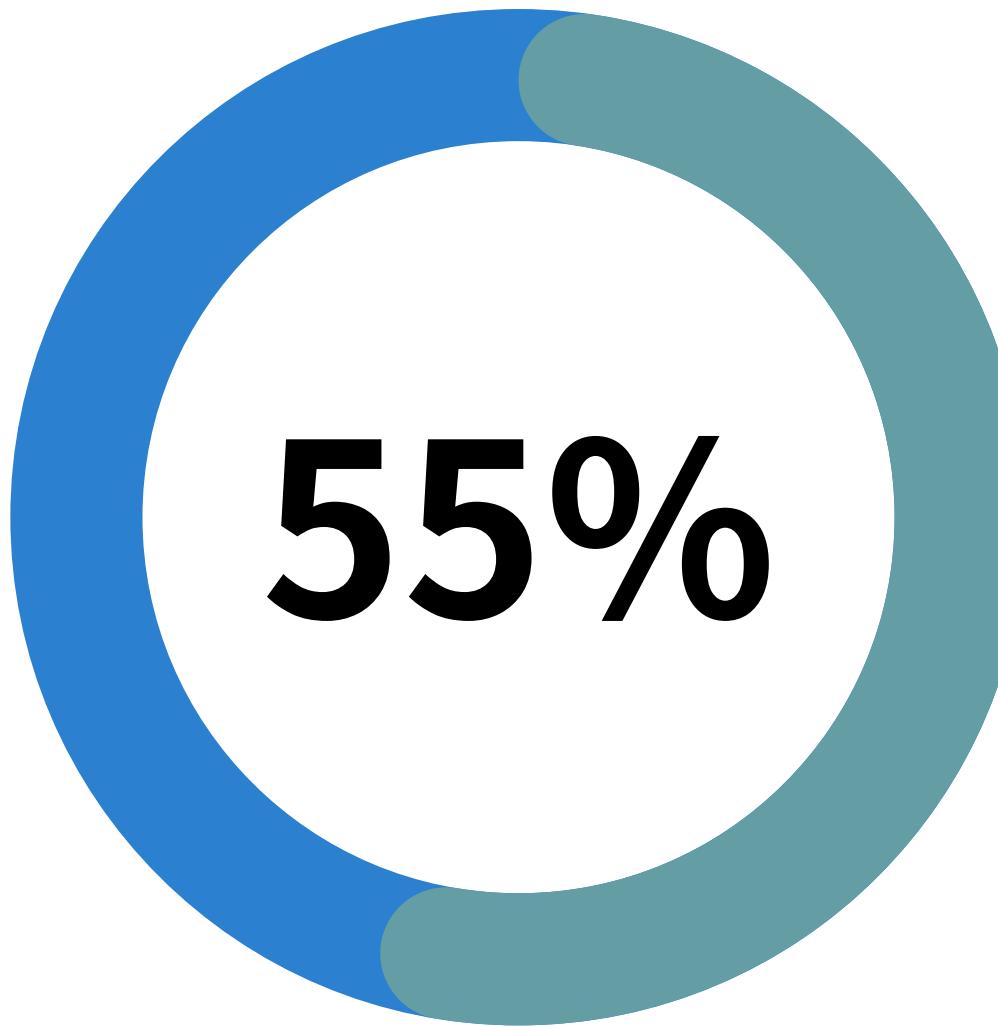
海外留学

奖学金

ガクシーが取り組む社会課題



出展：日本学生支援機構 令和4年度学生生活調査結果（調査結果の概要等）



日本の大学生（昼間部）の55%が
何かしらの奨学金利用しているとアンケートで回答。

出展：日本学生支援機構 令和4年度学生生活調査結果

奨学金情報が必要な人に届いていない

現在学生の奨学金利用率は上昇しているが、奨学金情報の周知度は低い。

そのため、必要な学生に情報を届けて支援を提供することが重要です。

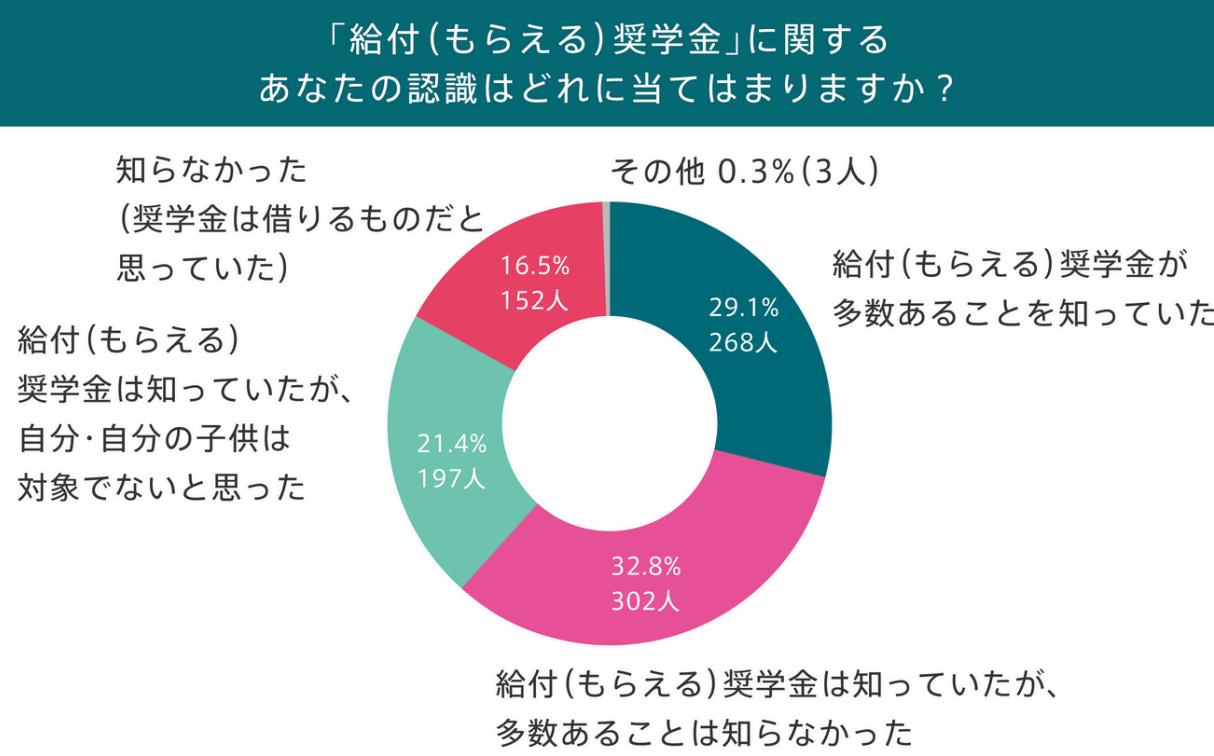
日本学生支援機構の奨学金の内訳では**77%が貸与型、23%が給付型**という割合です。

貸与型の奨学金を受給した学生は卒業後、毎月1.5万円程度を**約20年かけ返済**をしています。

POINT.01



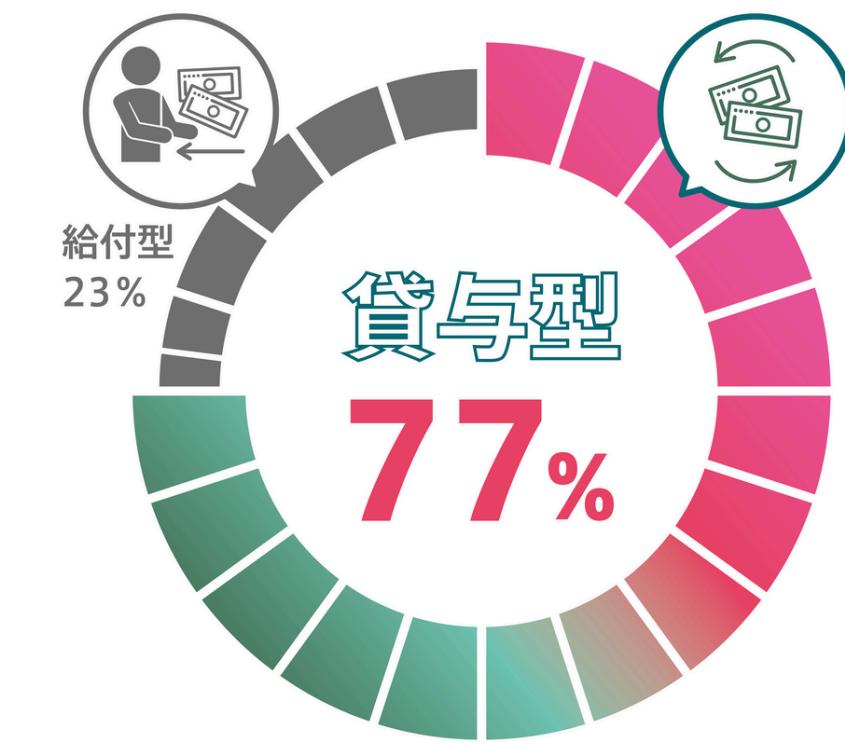
POINT.02



出典:日本学生支援機構「令和4年度 学生生活調査」

出展:ガクシー「奨学金に関する実態調査2023年」

POINT.03



出典:日本学生支援機構「令和4年度 学生生活調査」

教育費に対し給付型奨学金の総量が足りない 資金提供者が奨学金支援したくても便利な仕組みがない

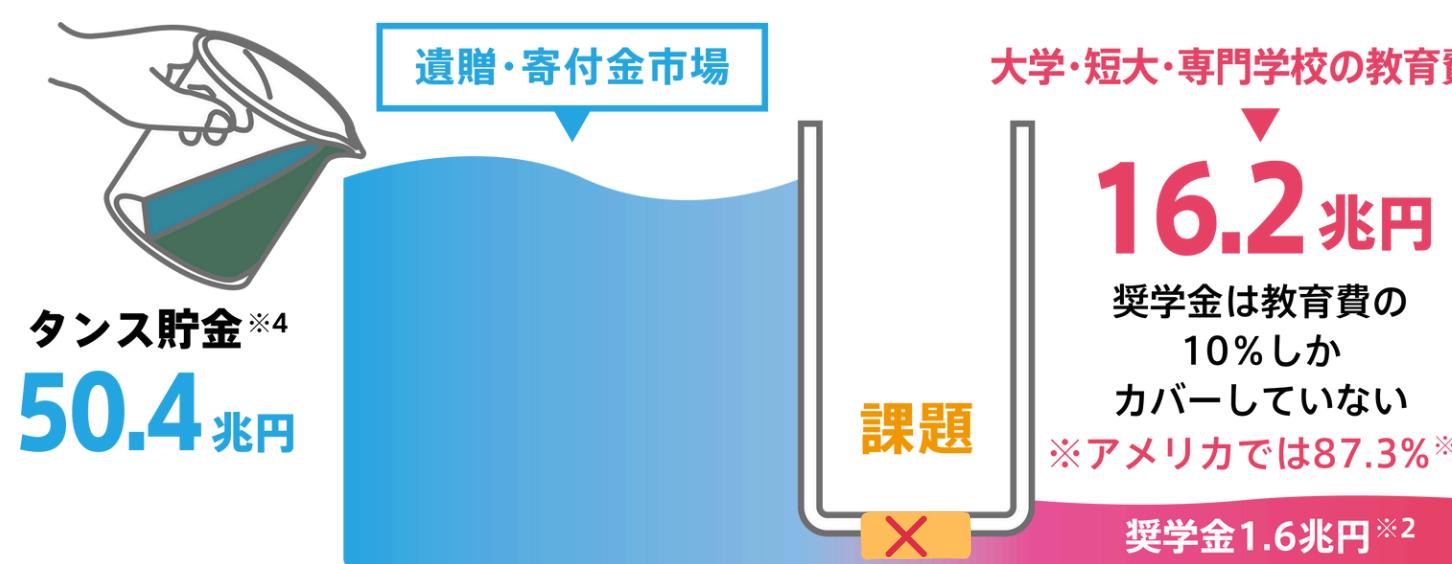
奨学金で若者支援をしたくても、立ち上げるのは大変で便利な仕組みがなく、あまり若者に資金がまわっていません。

大学・短大・専門学校の教育費全体が16.2兆円ですが、そのうち奨学金は1.6兆円と**教育費のカバー率はわずか10%**です。

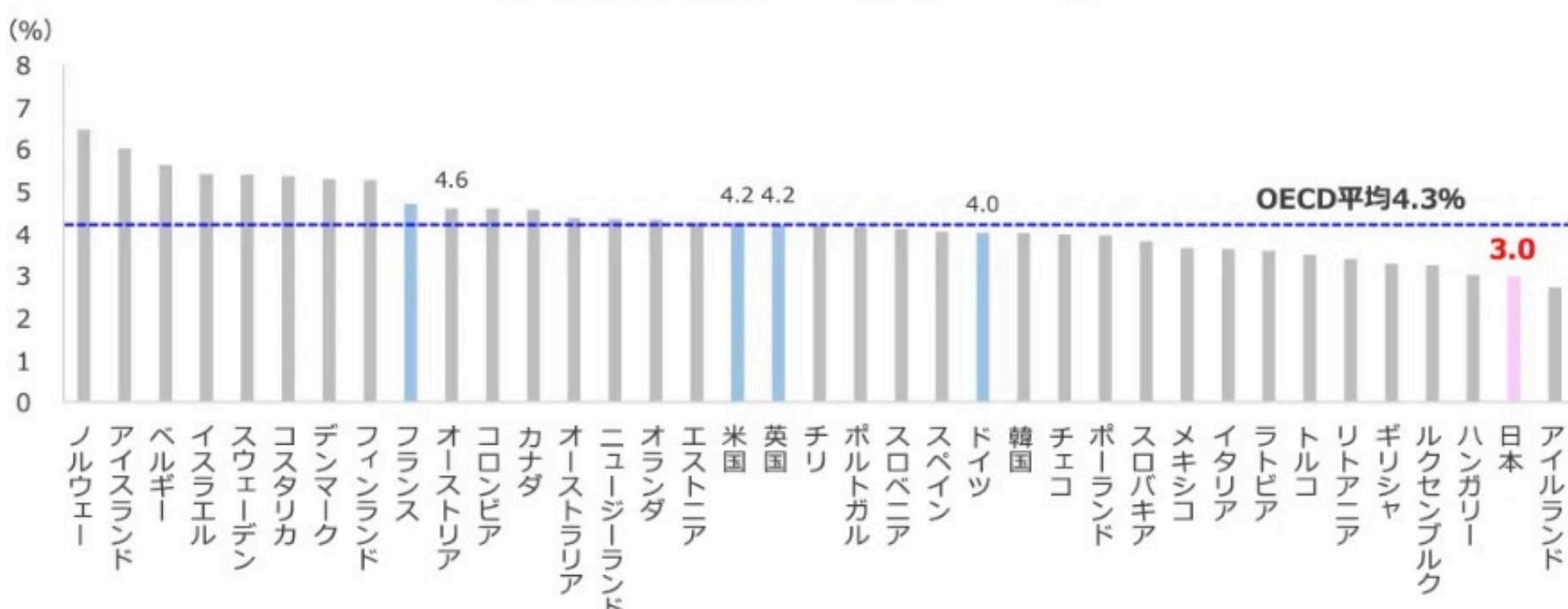
アメリカなど欧米諸国では奨学金をはじめ公的負担の割合をかなり大きく受けています。

GDP（国内総生産）に占める教育の公的支出の割合で見ても、日本は**OECD平均4.3%を下回る3%**です。

OECD加盟37か国中ワースト2位となっています。



公財政教育支出対GDP比 (2020年)



※1 令和4年文部科学省データより学生数と学費(平均)を基に試算

※2 令和4年日本学生支援機構業務実績にその他奨学金を加えた試算

※3 Education Data Initiative調査 / ※4第一生命経済研究所試算